

7 カウンターパート配置実績

C/P配置状況

(1) プロジェクト弁公室

氏名	出身母体	専任/兼任
張 文華	中国建築技術研究院 科技処副処長	兼任
韓 玉芬	中国建築技術研究院 信息所副訳審	専任
楊 筱玲	中国建築技術研究院 防水研究所職員	専任
譚 華	中国建築科学研究院 物理所研究者	兼任

(2) 計画・設計分野（農村地域集住型集合住宅）

氏名	期間	活動内容
劉 東衛	1995.09～2000.08	分野責任
李 秀水	1997.04～2000.08	教材作成、実態調査
梁 咏華	1997.04～2000.08	実態調査、資料分析
劉 蓉	1999.01～2000.08	実態調査、資料分析

(3) 計画・設計分野（高齢者用集合住宅）

氏名	期間	活動内容
開 彦	1995.09～2000.08	分野責任
林 建平	1995.09～2000.08	調査分析責任
劉 燕輝	1995.09～2000.08	指針、教材編集
王 路玖	1995.09～2000.08	調査参加等
藩 宝風	1995.09～2000.08	翻訳、調査、研究報告、教材作成
干 小非	1999.10～2000.09	教材編集、試験工事
王 賀	1999.10～2000.09	教材編集、試験工事

(4) 住宅需要予測分野

氏名	期間	活動内容
王 文元	1995.09～2000.08	分野責任
李 春敏	1999.06～2000.08	補佐

(5) 住宅性能分野

氏名	期間	活動内容
李 景色	1995.09～2000.08	分野責任
姜 仁	1995.09～2000.08	窓、ドア研究
談 恒玉	1995.09～2000.08	窓、ドア研究
王 洪濤	1995.09～2000.08	窓、ドア研究
謝 守穆	1995.09～2000.08	窓、ドア研究
林 若慈	1995.09～2000.08	窓、ドア研究
張 家猷	1995.09～2000.08	窓、ドア研究
張 建平	1995.09～2000.08	光研究
張 耀根	1995.09～2000.08	光研究
張 紹綱	1995.09～2000.08	光研究
譚 華	1995.09～2000.08	床衝撃音研究
丁 国強	1995.09～2000.08	床衝撃音研究

(6) 住宅施工分野 (建築科学研究院)

氏名	期間	活動内容
陶 学康	1995.09~2000.08	分野責任
張 荣成	1995.09~2000.08	機械設備開発応用、教材マニュアル作成
韓 繼雲	1995.09~2000.08	施工研究、教材マニュアル作成

(7) 住宅施工分野 (ハルビン建築大学)

氏名	期間	活動内容
関 柯	1995.09~2000.08	分野責任
李 忠富	1995.09~2000.08	施工方法、現場管理
劉 志才	1995.09~2000.08	工期、コスト、図面
張 肖寧	1995.09~2000.08	調整
王 洪	1995.09~2000.08	質量管理、現場管理
芦 金峰	1995.09~2000.08	施工経済性、方法、コスト
劉 長濱	1995.09~2000.08	施工経済性、団地施設
宋 鍵民	1995.09~2000.08	電算機応用、インテリジェント
王 要武	1995.09~2000.08	システム、方法、評価
胡 宝清	1995.09~2000.08	システム、方法、技術開発
張 興野	1997.01~2000.08	進捗
劉 延嶺	1999.06~2000.08	現場管理
張 守健	1995.09~2000.08	計画進度
王 峰	1996.08~2000.08	物品管理、方策、コスト
郭 逸	1997.09~2000.03	質量管理

(8) 住宅部品分野

氏名	期間	活動内容
何 少平	1995.09~2000.08	開発試験分野責任
斯 瑞冬	1995.09~2000.08	インターフェイス、部品開発、試験、教材
張 磊	1997.10~2000.08	インターフェイス、部品開発、教材
王 華	1998.09~2000.08	部品開発
姚 光民	1995.09~2000.08	部品開発、試験、教材
薰 月英	1995.09~2000.08	部品開発、試験
潘 宝風	1995.09~2000.08	調査、翻訳
干 音来	1995.09~2000.08	データベース分野責任
谷 保越	1995.09~2000.08	データベース設計
田 峰	1996.11~1998.06	データベース収集、加工
曹 深美	1995.09~2000.08	データベース収集、加工
陳 干山	1995.09~2000.08	ソフト開発、データ加工
談 慶華	1995.09~1998.12	部品データ収集、加工
李 宏謀	1995.09~1998.02	部品データ収集、加工

(9) 人材育成分野

氏名	期間	活動内容
張 欽儀	1995.09~2000.08	分野責任、人材育成管理、計画制定
卒 玉清	1998.04~2000.08	研修コース管理
王 宝剛	1998.04~2000.08	人材育成教材作成
劉 維衛	1996.08~2000.08	人材育成計画、設備、教材
華 建寧	1997.04~2000.08	人材育成管理

8 人材育成センターの研修・セミナー実績 (96.04-00.03)

一般研修

開催時期	テーマ	開催場所	参加者	備考
96.04.14-04.23	都市住宅団地不動産管理	深川(広東)	35	
96.05.30-06.05	村鎮計画設計	北京	30	
96.06.25-07.02	都市住宅設計と団地計画	張家口	35	
97.04.07-04.18	都市住宅団地不動産管理	番禺・香港	32	
97.05.26-05.31	全国小城镇建設	江西	115	
97.10.24-10.31	全国小城镇計画建設	北京	13	
97.12.01-12.09	建築構造・施工技術	北京	31	
97.12.19-12.25	住宅設計及び不動産管理	海口(海南)	30	
98.03.04-03.11	中華人民共和国建築法	海口(海南)	68	
98.03.27-04.02	中華人民共和国建築法	重慶	44	
98.04.03-04.08	都市住宅団地建設拡大のためのモデル的品質水準検討	海口(海南)	70	
98.08.05-08.13	村鎮建設と施工管理	ハルビン	55	共催(山東省)
99.05.04-05.09	住宅品質と保証制度	廈門	14	
99.01.05-01.12	住宅品質と保証制度	海口(海南)	11	
99.05.11-05.18	住宅品質と保証制度	昆明	16	
99.05.18-05.21	住宅団地インテリジェント化建設技術	北京	31	
99.07.13-07.17	住宅設計規範	北京	32	
99.07.30-08.02	高層民用建築防火規範	北京	29	
99.08.27-09.05	住宅設計規範	昆明	46	共同
99.09.06-09.12	全国消防施設専門工程設計者資格試験	北京	37	
99.09.09-09.18	住宅設計規範	烏魯木齊	45	
99.10.18-10.29	入札制度	昆明	48	共同
99.10.29-11.07	モデル建設市場と施工品質確保	成都	77	共同
99.11.11-11.20	入札制度	海口(海南)	28	共同
99.11.19-11.28	モデル建設市場と施工品質確保	海口(海南)	38	共同
99.11.22-11.24	火災自動警報システム設計基準	北京	29	
99.12.06-12.15	住宅設計規範	海口(海南)	21	共同
99.12.10-12.19	住宅団地計画設計	海口(海南)	20	共同
00.03.06-03.08	都市住宅団地居住環境・美化・管理	海口(海南)	8	
		計	1088	

中堅研修

開催時期	テーマ	開催場所	参加者	備考
98.03.31-04.07	全国小城镇計画設計	北京	4	
98.03.31-04.07	住宅団地計画設計	北京	35	
98.04.18-04.25	都市住宅団地モデル計画建築設計	北京	32	
98.06.29-07.05	都市住宅制度改革と住宅プロジェクト経済評価	北京	36	
98.07.13-07.19	小城镇計画設計	北京	24	
98.10.13-10.20	住宅団地計画設計	北京	28	
98.10.22-10.29	住宅施工と管理	北京	17	
98.11.3-11.11	建築構造と施工	北京	20	
99.03.28-04.02	住宅内装計画・改修企業経営	北京	58	
99.04.15-04.22	住宅団地計画設計	北京	26	
99.05.05-05.07	住宅設計規範	北京	42	
99.06.10-06.12	住宅設計規範	北京	53	
99.10.15-10.22	住宅団地計画設計	北京	44	
99.11.09-11.13	商品住宅性能機能認定と住宅品質保証制度	北京	14	
99.11.15-11.21	中小城镇計画設計と建設	上海	70	
		計	503	

中国住宅政策と住宅金融制度

セミナー

開催時期	テーマ	開催場所	参加者	備考
97.11.25-11.26	優良住宅新技術と教育	北京	58	
98.01.07	中日住宅政策、環境、未来（建設大臣来訪）	北京	54	
98.12.01-12.02	住宅品質と保証制度	北京	61	
99.08.11-08.12	中国住宅政策と住宅金融制度	北京	60	
00.01.19-01.20	建築耐震・防火計画	北京	59	
		計	292	
		総計	1883	

9 人材育成センターの研修・セミナー受講者へのヒアリング・アンケート結果

○回答者の基本属性

性別

男性	15 71.4%
女性	5 23.8%
不明	1 4.8%
合計	21 100.0%

所属

研究機関	4 19.0%
会社	4 19.0%
設計研究院	7 33.3%
地方政府	6 28.6%
合計	21 100.0%

職務

地方政府管理職	7 33.3%
エンジニア	7 33.3%
建築士	6 28.6%
その他	1 4.8%
合計	21 100.0%

問1-1. 受講した研修・セミナー (複数回答)

一般研修	12 57.1%
中堅技術者研修	10 47.6%
セミナー	3 14.3%
合計	25 119.0%

問1-2 受講した研修・セミナーの開催年 (複数回答)

1997	4 19.0%
1998	7 33.3%
1999	11 52.4%
2000	1 4.8%
無回答	2 9.5%
合計	25 119.0%

問2. 研修・セミナーを知った方法

・通知	11 52.4%
・雑誌	4 19.0%
・上司から	3 14.3%
・会社掲示板	1 4.8%
・市の建設委員から	1 4.8%
・知り合いの紹介	1 4.8%
合計	21 100.0%

問3. 研修・セミナーに期待したこと

・新しい情報・技術を得て知識を深める	19 90.5%
・交流を深める	2 9.5%
・業務に役立てる	3 14.3%
その他	3 14.3%
合計	21 128.6%

問4. 研修・セミナー全体の印象

1.おおいに役に立った	5 23.8%
2.役に立った	14 66.7%
3.普通	2 9.5%
4.あまり役に立たなかった	0
5.全く役に立たなかった	0
合計	21 100.0%

問5. 習得した知識の活用方法 (複数回答)

1.職場の業務に活用	18 85.7%
2.同僚に伝えた	10 47.6%
3.報告書の作成	2 9.5%
4.職場以外の人に伝えた	2 9.5%
5.その他	0
6.特に何もしていない	0
合計	32 152.4%

問6. 所属組織への影響

回答有り	17
	81.0%
無回答	4
	19.0%
合計	21
	100.0%

所属組織への影響の具体例

<ul style="list-style-type: none"> ・住宅品質・保証制度に関する市の規範集を作成した。 ・現在進行中の広場の計画設計に役に立ちそうである。 ・品質・メンテナンスの説明書の制作に役に立った。
--

問7. 良かった点、反省/改良すべき点、今後の提案（複数回答）

・実践に即した講義内容にして欲しい	10
	47.6%
・研修・セミナーの構成に関する要望・評価	9
	42.9%
・講師・講演へのプラスの評価	8
	38.1%
・講師・講演へのマイナスの評価	3
	14.3%
・研修・セミナーを増加や継続の要望	2
	9.5%
・国際的な情報に関わる要望・評価	2
	9.5%
・参加者の専門分野や程度に即したコースの設定	1
	4.8%
その他	1
	4.8%
無回答	1
	4.8%
合計	37
	176.2%

問8. 今後人材育成センターに期待すること（複数回答）

・研修内容についての要望	11
	52.4%
・研修体制の改善について要望	5
	23.8%
・通知についての要望	6
	28.6%
・人材育成センターの体制についての要望	6
	28.6%
その他	3
	14.3%
無回答	3
	14.3%
合計	34
	161.9%

10 住宅部品「ガス給湯器」開発参加企業に対するアンケート結果

住宅部品「ガス給湯器」開発参加企業に対するアンケート結果

評価団は、住宅部分野における部品開発参加企業に対し、プロジェクトへの参加意義を確認するため、下記の質問票を用いて、アンケート調査を実施した。参加企業 8 社のうち計 6 社から回答を得た（別表 1 参照）。

「小康型燃気熱水器合作開発項」に関する追跡調査	
	記入日（ 月 日）
	所属企業名：
	担当者名：
	役職：
問 1. 開発製品名称、形式	
問 2. 新開発製品の特徴と改良点	
問 3. 開発協力方法に対する意見、提案	
問 4. 開発製品の生産、普及の計画について	

主な回答結果は以下のとおりである。

問 1. 開発製品名称、形式：[次々ページ](#) 表●参照

各社とも、ガス瞬間給湯器の改善、改良に係る開発。

問 2. 新開発製品の特徴と改良点（複数回答）

燃焼・吸排気方式の改善	6
安全・安定性の改良	4
節約・熱効率の向上	2
操作性の向上、メンテナンスのしやすさの向上	4
機能の拡大・向上	7
低価格化	1
その他	7
既存製品のために特に変化なし	3
計	34

主な改良点としては、強制排気方式への改良、熱効率の向上、安全性の向上、操作性の向上、小型化、付加機能の拡大等であった。なお、日系企業 3 社においては、協力要請時に提示された基準をすでにクリアしていたため、一部マイナーな改良を行った程度であった。

問3. 開発協力方法に対する意見、提案 (複数回答)

国家研究機関と企業の協力は双方にとってよい	1
設計、取付、利用まで一環した考え方の重要性を認識した	1
今回の協力開発はほぼ成功である	1
開発製品の普及のために、建設部またはセンター名で推奨、等級等の称号をあたえてはどうか	2
開発協力の成果を判断するには時間がかかる	1
要求された評価会への提出資料の量が膨大であった	1
百数十社ある給湯器メーカーの中の数社だけが参加して、どれほどの影響があるか疑問	1
参加メーカー同士で水準を高めることができる	1
センター側により専門的知識が必要	1
特になし	1
計	11

今回のような国家研究機関とメーカーとの開発協力に関して、1社を除いて、肯定的に評価している。これまで中国の部品メーカーに欠けていたといわれる部品製造と取付、利用までの一環した考え方を認識したという意見や、開発製品の普及のために、建設部またはセンター名で推奨、等級等の称号をあたえてはどうかという前向きな意見も複数見られる。

問4. 開発製品の生産、普及の計画について (複数回答)

すでに8千台を生産、今後年間販売量5万台を目指す	1
年間販売量10万台を計画	2
2000年には、3~5万台を生産販売する計画	1
すでに販売しており、販売実績はますます	3
計	7

開発した製品の今後の生産、普及計画については、各社とも意欲的である。すでに販売している企業も4社あり、その他の企業も年間数万台規模の販売を目標としている。

●その他

今後、住宅新技術研究・人材育成センターに、製品開発において期待することとして、以下のような意見が挙げられた。

- ・中国の建築政策等に関する情報提供を望む
- ・製品単体だけでなく、設置条件の標準化、法的整備、周辺部材の開発を進める必要がある
- ・室外機の開発への協力を望む

別表1 住宅部品・第一次開発部品「ガス給湯器」

開発実績一覧

	企業/担当者	開発機種	備考/ アンケート回答の有無
1	順徳市万和企业集团公司 総経理助理 舒志新 電話：0765-8982663(代) fax：0765-899618	JSY(R,T)PQ10-E (強制給排気式)	回答あり
2	山西三益電子集团公司 総工程師 高級工程師 張有建、魏兵華(6044187) 電話：0351-6044485 fax：0351-6040820	JSTDQ9 (強制排気式)	回答あり
3	広東南海万順燃具有限公司 総工程師、高級工程師 徐恩杰 電話：0757-6856688ex8700 fax：0757-6856633	DQ9 (強制排気式) PQ10A (強制給排気式)	回答なし
4	前鋒電子股分有限公司 総工程師 高級工程師 宋家勝 電話：028-3251301 fax：028-3261367	JSTDQ9/QF113, JSY(R)DQ8/QF113, (強制排気式) JST16-W/QF119 (室外取付式)	回答あり
5	桜花衛厨(中国)有限公司 研究部 総工 高級工程師 林錦春 電話:05207300964-225 fax:0520-7307060	JSY(T,R)DQ10/SCH-1081	回答なし
6	上海水仙能率有限公司 技術開発部 呉海 Zhao 董事/副総経理 tel:021-58994048 fax:021-58994348	JST(RY)DQ10 (強制排気式) JST(R,Y)PQ10 (強制給排気式)	日系企業 回答あり
7	杭州松下燃具有限公司 品質技術部副部長 工程師 浦曦安 董事/総経理 tel:0571-6910221ex210 fax:0571-6910230	DQ10/GW-10E2C (強制排気式) PQ10/GW-10F2C (強制給排気式)	日系企業 回答あり
8	上海林内有限公司 工程師品質保証部長 陸振輝 総経理 進士克彦 tel:021-58716982 fax:021-58717179	DQ8-A,DQ-10A, (強制排気式) P10-B (バランス式)	日系企業 回答あり